



World Supersport Championship

round - 13 October 30

大久保光-予戦 17 番手 決勝 13 位。2016 年度総合ランキング 21 位。

World Supersport Championship (WSS) は最終戦を迎えました。カタールの首都ドーハ郊外の砂漠の中に建設されたロサイロ・インターナショナル・サーキットが舞台です。5.4 km のコースにロングストレートと左 6、右 10 の中速コーナーを組み合わせたレイアウト。ナイトレースのために照明灯を 1000 本設置してあります。WSS もナイトレースとして開催されました。

大久保光は 4 年前にアジアドリームカップ (ADC) に参戦、タイトルを獲得したシーズンにカタールを走行しており、コースを知っていることをアドバンテージしたいと挑みましたが、ADC で駆っていたマシンと WSS のマシンでは排気量が違うために、その経験を生かすことは難しく初めてのコースと同じように挑戦することになりました。WSS は低コストとイコールコンディションを目指すことからレースウィークで使えるタイヤ本数が制限されています。大久保は予選上位でグリッドを争うスーパーポールの進むためにタイヤ交換のためにピットインしますが、メカニックがタイヤ交換を拒み、そのままピットアウトしタイムアタック、17 番手となりスーパーポールに進むことが出来ませんでした。決勝朝のフリー走行では左コーナーで転倒してしまいます。幸いケガもなくマシンのダメージも少なく修復してグリッドに付くことができました。

大久保はスタートダッシュで 1 コーナーでは 10 番手にポジションアップしますが、大久保のフロントタイヤと他車のリヤタイヤが接触、転倒は免れましたが、大久保は最後尾からの追い上げを強いられます。果敢に追い上げ順位を挽回しますが、5 ラップ過ぎからシフターが重くなり、ギアが入らなくなったり、抜けたりとのトラブルが発生、それをごまかしながらの走行となってしまいます。思うようは走りができなかったですが、13 番手まで追い上げチェッカーを受けることが出来ました。今回もポイントを獲得、2016 年の WSS ランキングでは 21 位となりシーズンを締め括りました。

大久保光

「カタールは走行経験があったので上位でのバトルがしたいと意気込んでいました。最終戦ということもありましたし、ここで絶対にいいレースがしたいと思っていました。ですが、排気量が違うため経験が生きるという状況ではなく、1 からマシンを積み上げて行く作業は、他のサーキットと変わりませんでした。それでも、なんとかスーパーポールに残りたくタイヤ交換してアタックしたかったのですが、厳しい状況の中でタイムアップ出来ないなら無理してスーパーポールに残っても仕方がないとメカニックが判断してくれ、諭してくれました。目先のタイムより大事なことがあると、今の自分に必要なことを考える機会を与えてくれたと今は感謝しています。決勝のトラブルも朝フリーの転倒が引き金でした。たくさんの方の協力があり、WSS を戦わせて頂き、いつも、感謝しながら挑んで来ました。だからこそ、今は、悔しさしかありません。この経験を来季に絶対に活かします。素晴らしいチームとメカニックに出会えたことが財産です。来季も Honda、ピーアップを初めとするスポンサーの後押しで WSS に挑むことが出来ます。皆さんに喜んでもらえる結果を残したいと、今は、そればかり考えています。ワンシーズン、支えて頂き本当にありがとうございました。感謝しています」

※アドレスをクリックして頂きますとメールが立ち上がるようになっております。

お気軽にお問い合わせ下さい。取材対応もさせていただきますので、よろしくお願い致します。

CIA ランドロイドインシュアランス◆チームリリースに関するお問い合わせ先 : no1_hikari@yahoo. co. jp [大久保 光]

